

令和4年度 事業計画

《令和4年度事業計画》

1 事業運営方針

法人の目的である「慶長遣欧使節等の大航海時代の歴史的事績並びに船舶及び海洋に関する学習・体験の場を提供することにより、地域の振興及び青少年の健全育成に寄与する」という基本方針を中心に、現在、牡鹿半島の玄関口としてリニューアルの準備が進められるミュージアムの存在意義を発信し、石巻圏域の観光拠点として地域の活性化及び賑わいの創出を図るための各種イベント・文化交流事業等を実施する。

2 公益目的事業

I 企画事業

当協会は、宮城県よりミュージアムの管理運営・関連企画事業の実施等を受託しているが、企画事業の中心であった復元船の展示が終了したことから、これまで紹介してきた慶長使節の歴史に加え、使節を育んだ三陸・牡鹿の風土をテーマとした展示・イベント企画を行い、館内事業の枠を超えて地域の文化・観光振興に歴史・文化の分野から貢献できるよう、下記のソフト事業を展開する。

また、地域の未来を担う宮城県の小学校を対象とした出前講座やコンクール、来館者を対象とした講座を開催することで、リニューアルに向けて慶長遣欧使節の偉業等をこれまで以上に発信していくための事業を展開する。

他にも、県制150周年記念事業や各種自治体の観光誘客キャンペーン、地域団体との連携を図り、石巻圏域全体における交流人口増加を念頭に置いた各種誘客事業等を、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みつつ実施する。

(1) 船舶文化事業（企画展示・講演会事業等）

No	事業名	開催月日等	備考
1	有識者講座「慶長遣欧使節の世界」(仮題)	6月～9月	
2	特別展「帆船と航海」(仮題)	夏季～秋季	
3	令和4年度シンポジウム	秋季予定	
4	出張展示「とびだせサン・ファン」(仮題)	冬季予定	

(2) 学習教育支援事業

No	事業名	開催月日等	備考
1	第3回サン・ファン号を未来へつなぐ コンクール作品募集・応募作品展	募集：4月～8月頃 展示：秋季予定	
2	学習プログラム「博物館は教室だ！」	通年	随時募集
3	学校向け出前講座	通年	随時募集

(3) 誘客事業

No	事業名	開催月日等	備考
1	GW特別企画「ようこそ石巻・牡鹿半島へ」	4月下旬～5月初旬	
2	海の日特別企画	7月中旬	
3	親子レクチャー	夏季	
4	サン・ファン・イルミネーション in パーク	11月初旬～1月下旬	

(4) 共催・協賛事業

No	事業名	開催月日等	備考
1	第29回サン・ファン祭り	5月下旬	実行委員会主催

II 宮城県慶長使節船ミュージアム 管理運営事業

県内の博物館と情報交換を積極的に行い、復元船「サン・ファン・パウティスタ」号の展示公開終了に対応する形で展望棟展示の充実を図り、施設の運営管理・各種事業を実施する。また、令和6年度ミュージアムのリニューアル関連業務にあたって、協会として可能な限りの技術的支援を行う。

※ ミュージアムの開館・休館時期については、リニューアルに向けた各種工事スケジュールを踏まえ、宮城県と適切な期間を協議する。

(1) 慶長使節船ミュージアム 展示解説業務

「サン・ファン・パウティスタVR船内ツアー」などのデジタルコンテンツを最大限活かし、随時案内を行うほか、希望する団体や学校等を対象にツアー等を実施する。

(2) 慶長使節船ミュージアム 広報業務

宮城県・石巻市の広報紙、旅行雑誌への記事掲載、テレビ・新聞等メディアを活用した広報を実施する。また、WEBサイトを積極的に活用し、SNS等の情報発信ツールと併せ、ミュージアムのリニューアルに関する情報など、積極的なPRに努める。

(3) 慶長使節船ミュージアム 特別開館等

- ア) 入館料無料開放・・・海の日(7月)、出帆記念日(10月)
- イ) 開館時間延長・・・8月中(午後5時30分まで1時間延長)

(4) 慶長使節船ミュージアム 各種設備機器保安・保守業務

運営組織に基づき協会職員が管理運営に当たるほか、次の業務は各専門の業者に委託し、更なる施設の安全性の向上と効率的な施設の維持管理に努める。

- ア) 清掃業務
- イ) 警備業務
- ウ) 昇降装置保守点検業務
- エ) 階段昇降機設備保守点検業務
- オ) 施設管理業務
- カ) 植栽管理業務
- キ) 電気設備管理保安業務

(5) 慶長使節船ミュージアム リニューアル事業に係る業務支援

宮城県によるミュージアムのリニューアル事業にあたって、1996年からのミュージアム管理運営の知識と経験を活かして、様々な技術的支援を継続して実施する。

- ア) 後継船の製作及び展示に関する技術的支援
- イ) 業務用備品等の管理及び処分
- ウ) 後継船の維持管理手法の検討
- エ) ドック棟及び作業用道路の点検・管理（※工事期間中も継続する）

(6) 慶長使節船ミュージアム 研修・防災訓練等

来館者の利便性の向上や安全の確保のため、外部講師等による適切な指導の元、講習会などを実施する。また、他の博物館・観光施設等を視察すると共に、外部セミナー等を活用し、地域との連携を図りながら、観光面やインバウンド面等から幅広いニーズに対応できるよう努める。

- ア) 避難訓練の実施
- イ) AED講習会の実施
- ウ) 研修視察及び観光関連セミナー
- エ) インバウンド関連セミナー

(7) 慶長使節船ミュージアム 企画運営委員会

館長の諮問機関として、有識者からなる企画運営委員会を開催し、企画広報事業に関する意見や提案等を受け事業運営に反映させる。

Ⅲ 復元船資料及び部材等の管理・活用業務

約30年もの間、地域やミュージアムのシンボルとして役割を果たしてきた復元船「サン・ファン・パウティスタ」号については、令和3年秋季をもって展示公開を終了したが、復元船の画像記録や部材などの活用・再利用方法を継続して検討し、復元船が担ってきた役割を、後継船と共に新しい形で後世に繋いでいくための方策を検討・実施していく。

(1) 復元船「サン・ファン・パウティスタ」号 画像記録等アーカイブ業務

当館に保管される30年間の記録画像（フィルム等）をデジタルアーカイブデータとして収集・変換し、今後幅広く活用できるよう整備を行う。

(2) 復元船部材及び資材の活用・配布の検討

復元船の解体に伴い取り出された部材や補修用資材を、リニューアル後に利活用できる館内備品・記念品等に転用する。

- ① ミュージアム設置用のテーブル・ベンチ
- ② 木製カッティングボードや木製コースター
- ③ レジンなどを活用した記念品 など

IV 石巻市サン・ファン・バウティスタパーク 管理運営事業

立体駐車場、サン・ファン広場、芝生広場等で構成されるサン・ファンパークは、ミュージアムの付帯施設として、来場者の憩いの場、イベント会場を提供している。市民の文化活動の向上に資し、合わせて市民の憩いの場を提供するため、隣接する宮城県慶長使節船ミュージアムとの一体的な管理運営により効率的な維持管理に努める。

(1) サン・ファンパーク 観光案内業務

サン・ファンパークは、石巻圏域と牡鹿半島の観光の拠点として、サン・ファンパーク立体駐車場1階に「サン・ファンインフォメーションセンター」を設置するとともに、無料Wi-Fiを整備し、観光客の利便性の向上を図りながら、石巻地域の観光・文化施設を中心に大型モニターや各施設のチラシなどによりPRする。

(2) サン・ファンパーク 各種設備機器保安・保守業務

サン・ファンパークは、駐車場、トイレ、自動販売機等を備えており、不特定多数の市民が利用していることに併せて、隣接するサン・ファン館の入館者の殆どが利用していることから、開園中は協会職員が運営管理に当たるほか、次の業務は各専門の業者に委託し、更なる施設の安全性の向上と効率的な施設の維持管理に努める。

- ア) 清掃業務
- イ) 警備業務
- ウ) 施設管理業務
- エ) 植栽管理業務

(3) サン・ファンパーク 利用促進業務

サン・ファンパークは令和1～2年度の改修工事に伴い、噴水や駐車場設備等の老朽化が解消され、新たに遊具が設置されるなど、市民の憩いの場としての利便性が向上したことから、以下のとおりミュージアムと連携した積極的な活用・貸出・PR等を行い、地域の活性化やより一層の賑わいの創出に努める。

- ア) イベント事業…サン・ファン祭り、イルミネーション、館内事業等との連携
- イ) 物産会、芸能・音楽祭、園遊会などの企画運営（地域関係団体と共催を促進する）
- ウ) 市民団体を中心としたパーク貸出業務
- エ) 学校行事（遠足・野外学習会）の補助・支援

3 収 益 事 業

I サン・ファンショップ グッズ販売事業

サン・ファン関連のグッズや石巻市の産品などを取り揃え、より一層の販売促進やサービスの向上に努める。また、関連イベントなどにも積極的に出店し、当館のPRやリピーターの増加に努める。

4 法 人 管 理

I 慶長遣欧使節船協会 理事会

第1回通常理事会 令和4年5月下旬(予定)

第2回通常理事会 令和5年2月上旬(予定)

II 慶長遣欧使節船協会 評議員会

定時評議員会 令和4年6月中旬(予定)